

南山宗教文化研究所所蔵

静坐社史料から見える 国際ネットワークとジェンダー —英文学と宗教学の交錯するところ—

静坐社史料展示

期間 3月1日(金)～28日(木)

会場 南山大学ライネルス中央図書館 展示エリア

静坐社とは：小林信子が1927年に設立した岡田式静坐法を実践する修養団体。活動は静坐会にとどまらず、英語の堪能な小林を媒介に欧米の女性たちとのネットワークが形成された。本展示では、国境を超えて文学や宗教を介して交流した女性たちの姿を垣間見られる史料を展示する。

※学外の方は入館時に身分証明書を提示の上、必要書類にご記入下さい。

併行開催ワークショップ

日時 3月31日(日) 13時～15時

会場 南山大学ライネルス中央図書館 NANTO ルーム

登壇者 栗田英彦氏 (佛教大学非常勤講師、南山宗教文化研究所非常勤研究員)

雲島知恵氏 (奈良女子大学 STEAM 融合教育開発機構専任講師)

司会・コメント 守屋友江 (南山宗教文化研究所第一種研究所員)

プログラム

栗田氏 「京都静坐社の人脈に見る宗教・文学・女性」

雲島氏 「静坐社資料に見る戦間期女性文筆家の国際ネットワークと日本文学の英語翻訳：
小林信子訳 *The Sketch Book of the Lady Sei Shōnagon* を糸口に」

申込み 3月30日(土) までに下記または QR コードで申込み下さい。

<https://forms.gle/dUW4Mayfr8kf4Ep36>



主催 科研費基盤研究 (C) 20K00084 「近代仏教と民間精神療法：プラクティスの近代化とグローバル化」、23K00400 「女性達の環太平洋ネットワーク：20世紀前半日英米文学交流のデジタル分析」

共催 2023年度南山大学パッへ研究奨励金 I-A-2 「南山宗教文化研究所所蔵ルース・F・佐々木資料の国際アーカイヴ構築に関する基礎研究」

協力 南山宗教文化研究所